

平成29年9月15日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」－平成29年8月度調査－ ～「景況感」と「災害への備え」についてお聞きしました～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、全国の中小企業経営者を対象とした毎月のアンケート調査「大同生命サーベイ」を実施しています。

8月は、毎月実施している「景況感」に加え、個別テーマとして「災害への備え」を調査しました。

<調査概要>

調査期間 : 平成29年8月1日（火）～8月31日（木）
調査対象 : 企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
調査エリア : 全国
調査方法 : 当社営業職員が訪問により調査
回答企業数 : 4,098社
調査内容 : ①景況感
②個別テーマ：災害への備え

<ポイント>

■景況感

➤「業況DI」は▲4.1pt（前月比+0.3pt）、「将来DI」は6.4pt（前月比+0.4pt）といずれも前月からほぼ横ばいとなりました。

■個別テーマ：災害への備え

➤今月は、「防災の日（9/1）」にあわせ、経営者の皆さまの防災への意識を確認することで、事業継続への「ヒント」として活用いただくことを目的に、調査を実施しました。

✓災害に備えた取組みでは、「安否確認手段の整備・周知」が約5割と最も多く、次いで「保険への加入」「備蓄の確保」「データのバックアップ」となりました。
また、今後実施したいことでは、「他社との協力体制構築」「資金調達方法の確保」が多くなりました。

✓事業継続計画（BCP）を策定している企業は1割未満にとどまりました。なお、策定のきっかけでは、「東日本大震災」「顧客・取引先の要請」「企業の社会的責任」がそれぞれ約2割となりました。
BCPの認知度では、全体の約6割がBCPの「名称・内容ともに知らない」と回答。また、未策定の理由では、「策定方法がわからない」が約5割と最も多くなりました。

✓災害時に企業が期待される役割では、「人命の安全確保」が約7割と最も多く、次いで「雇用維持」「商品・サービスの安定供給」となりました。業種別にみると、「建設業」で「復興への貢献」、「卸・小売業」で「商品・サービスの安定供給」が多くなっています。

※業況DI：自社の現在の業況 将来DI：自社の将来（1年後）の業況

【別紙】

■ 「大同生命サーベイ」について

当社は、昭和40年代から中小企業市場に特化した「独自のビジネスモデル」を通じて、約37万社のご契約企業をはじめ、多くの企業経営者さまとの関係を築いてまいりました。

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取り組み」等に関する“生の声”をお聞きする調査として、平成27年10月より、全国で実施しています（毎月の回答企業数：約4,000社）。

中小企業の多くを占める「小規模企業」にフォーカスした、「毎月」のアンケート調査としての“独自性”を活かし、経営者のみなさまの関心が高いテーマや、経営課題に対する“ヒント”等、有益かつタイムリーな情報提供に努めております。

末筆となりますが、当調査にご賛同いただき、ご協力いただいております経営者のみなさまには、厚くお礼申し上げます。

[参考：過去の個別テーマ（直近1年分）]

平成29年 8月	災害への備え
平成29年 7月	電力小売自由化
平成29年 6月	助成制度の活用
平成29年 5月	取引拡大に向けたIT活用
平成29年 4月	労働時間の縮減・同一労働同一賃金への取組み
平成29年 3月	健康経営への取組み
平成29年 2月	働き方改革と賃上げの実施意向
平成29年 1月	成長投資に向けた資金需要
平成28年 12月	「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」
平成28年 11月	中小企業等経営強化法の活用
平成28年 10月	相続対策
平成28年 9月	人材確保

➤ 「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命Webサイトでご覧いただけます。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>

※ 「大同生命サーベイ」で検索ください。